

「産廃の島の笑顔とつぶやき」

国際コミュニケーション学科 姫野 卓也

この作品は、豊島(香川県)の産業廃棄物問題に対する取材活動をまとめたものです。豊島への産業廃棄物の不法投棄は 1975 年から 1990 年までの 16 年間にわたって行われました。2000 年には公害調停が成立しましたが、産廃の処理は 2016 年まで続く予定です。

取材活動を行ったきっかけは、私のゼミの担当である曾根教授が記者時代に豊島への取材を行っていたことです。

私は曾根教授の授業で初めて豊島の産廃問題を知り、90 万トンという膨大な量の産廃が不法投棄された現場を自分の目で見てみたい、また豊島の住民はどのような思いで産廃問題と闘ってきたのかを聞いてみたいと思い、現地での取材活動を始めました。

今回は学生懸賞論文への応募に合わせて映像作品としてまとめましたが、豊島では現在も産廃処理が続いているということと、過疎化という新たな問題が発生しているということから、本作品はあくまでも取材活動の途中経過であるということになります。

今後も継続して取材活動を行い、その経過を映像として残したいと思います。